

令和元年度第8回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 令和元年12月24日（火） 午後14時30分から16時00分まで
- 場 所： 市立病院本館5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介
理 事 森 一樹, 黒田 啓史, 半場 江利子, 松本 重雄, 位高 光司,
能見 伸八郎, 山本 みどり, 白須 正
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則
事務局 折戸経営企画局次長, 長谷川事務局管理担当部長, 濱口経営企画課長,
大島事務管理者・統括事務長, 北川事務長

1 開会

2 議事・報告等

(1) 月次収支（10月まで）報告

資料1に基づき、折戸経営企画局次長から説明

- 人件費の変動が大きい原因は。
→ 交通費や休日勤務手当支給の影響が考えられる。また、職員数も増えた。
- 10月以降、人件費が増えることがあるのか。
→ 増減はある。
- 昨年よりも、収益の伸びが悪い。
→ 原因の1つに、平均在院日数が昨年よりも短縮したが、ベッドが空いた分、新入院患者獲得ができていない。
→ 予定入院の方が多ければ、こちらが予定した適切な在院日数で運用できる。しかし、緊急入院の方は、複合疾患を持つ方が多く、在院日数が長期化する。11月以降、季節的な要因もあり、緊急入院の方が増える。
- 安定的な経営基盤を整えるために、経費支出を抑える必要がある。
→ 抗がん剤にジェネリックを導入する等実施している。しかし、新薬の登場により、薬剤費は増加する見込みである。分子標的薬など他の薬剤と代用できないものもある。引き続き、共同購入を行う等、薬品費を抑える努力を行う。

(2) 収益状況月次（11月分）報告

資料2に基づき、折戸経営企画局次長から説明

- 紹介率が増加しているのは、経営的にもよい。
- 2人主治医制とは。
→ 当院の医師だけでなく、地域の医師も主治医として診るということである。
- 年末年始稼働が落ちる可能性がある。支出を減らす努力をお願いします。

(3) 職員給与規程の改正について

資料3に基づき、折戸経営企画局次長から説明
議案のとおり承認された。

- 経費に与える影響は。
→ 大きな影響のない範囲で決定した。

(4) 医用画像情報システムの更新について

資料4に基づき、折戸経営企画局次長から説明
議案のとおり承認された。

3 その他

緩和ケア病棟，患者支援センターの視察を行った。

3 閉会